

作成日：2026/02/28
改訂日：YYYY/YY/YY

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称、品番 : JK-75C90

供給者の会社名称 : パナソニック ハウジングソリューションズ株式会社

住所 : 大阪府門真市大字門真 1048 番地

電話番号 : 06-6908-6563 (水廻りシステム事業部)

項目 2 以降については別添参照

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

〔供給者〕	会 社	アイカ工業株式会社
	住 所	茨城県古河市大和田 1 7 7 8 番地
	担当部門	化成品カンパニー 生産統括部 茨城工場
	電話番号	0280-76-1551 FAX番号 0280-76-1555
	緊急連絡先	担当部門に同じ

整理番号：	D J K 0 0 3 1 - 9	改訂日	2 0 2 4 年 1 2 月 2 5 日
		作成日	2 0 1 3 年 9 月 2 4 日

化学品の名称 J K - 7 5 C 9 0

(化学名, 商品名)

推奨用途及び使用上の制限 工業用、所定の用途以外には使用しないこと

2. 危険有害性の要約

GHS分類：	
可燃性固体	区分に該当しない
皮膚感作性	区分 1
生殖細胞変異原性	区分に該当しない
発がん性	区分に該当しない
生殖毒性	区分に該当しない
水生環境有害性 短期（急性）	区分 3
水生環境有害性 長期（慢性）	区分 3

※上記で記載がない危険有害性は、分類対象外または分類できない。

ラベル要素：

・ 絵表示



・ 注意喚起語 警告

・ 危険有害性情報

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
長期継続的影響によって水生生物に有害

・ 注意事項（GHS対応表記）

安全対策	粉じん・ミスト・蒸気・スプレーの吸入を避けること。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 緊急時を除き、環境への放出を避けること。 保護手袋・衣類・保護眼鏡を着用すること。
救急措置	皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。 特別処置が必要。『4. 応急処置』を参照。 皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断を受けること。 汚染された衣類を再使用する場合は洗濯すること。
廃棄	内容物や容器を廃棄する場合は、法令・条例に従って廃棄すること。

※製品ラベルの有害性情報は製品群毎に共通の内容としていますので、個別の安全データシートの記載内容と異なる場合があります。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別： 混合物
 化学名又は一般名： シリコーン樹脂
 成分及び含有量：

成分名	含有率 (%)	CAS No.	化審法
メチルトリス (エチルメチルケトオキシム) シラン	1.0~10	22984-54-9	既存
酸化チタン(IV)	10(代表値) <1.0~10>	13463-67-7	既存
ビニルトリス (メチルエチルケトキシム) シラン	0.10~1.0	2224-33-1	既存
アミノエチルアミノプロピルトリメトキシシラン	0.10~1.0	1760-24-3	既存
メチル=ベンゾイミダゾール-2-イルカルバマート	0.01~0.1	10605-21-7	既存

※一部成分の情報・濃度は企業秘密として非開示

4. 応急措置

目に入った場合： ・清浄な水で15分間以上洗眼し、眼科医の診断を受ける。
 皮膚に付着した場合： ・付着物を拭き取り、水と石鹼でよく洗う。
 ・かゆみ、炎症が出た場合は、ただちに医師の診断を受ける。
 吸入した場合： ・空気の新鮮な場所に移し、安静保温に努め、医師の診断を受ける。
 飲み込んだ場合： ・医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

消火方法： ・火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して風上から消火する。消火には水スプレーにてタンク等の冷却を行う。
 ・保護衣を着用するほか、状況によっては、不浸透性手袋、有機ガス用防毒マスク等の保護具を着用する。
 消火剤： 水 [] , 二酸化炭素 [○] , 泡 [○] , 粉末 [○] , 乾燥砂 [] その他 ()
 使ってはならない消火剤： 水

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項, 保護具および緊急措置： ・保護眼鏡, 保護手袋, 防毒マスク等を着用して作業する。
 ・着火源を除去する。
 ・風上から作業する。
 環境に対する注意事項： ・下水溝、水路または地面に侵入しないようにする。
 ・漏出した場所の周辺にはロープを張り、人の立入りを禁止する。
 ・付近の着火源を取り除き、消火器材を準備する。多量の場合には、流路を盛土などで囲って流出を防止する。
 封じ込め及び浄化の方法及び機材： ・少量の場合は紙、布、砂などに吸収させ、フタ付きの容器等に回収する。
 ・多量の場合は火花の出ないシャベル等で空容器等にすくい取る。
 ・漏洩物中には滑り事故を引き起こすものがあるため、適切な方法で除去する事。自然発熱が起こる可能性があるため、除去作業に使用したウエス、砂などは適切な方法で廃棄すること。
 ・流出、その他の事故が発生した時は、警察署、消防署等の関係機関に連絡する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い：
- ・皮膚に触れないよう保護手袋、保護眼鏡、呼吸用保護具等の保護具を着用する。
 - ・湿気を遮断する。
 - ・開封後の容器はシールし、できるだけ早く使い切る。
 - ・取扱い後は手洗いを充分に行う。
 - ・硬化時にメチルエチルケトオキシム (MEKO) が発生する。引火性があるため火気厳禁で取り扱う。また、換気のよい場所でのみ使用する。
 - ・蒸気、スプレー、ミストの吸入を避ける。
 - ・適切な全体換気・局所排気装置を設置する。
- 保管：
- ・容器は破損、腐食、割れ等のないものを使用する。
 - ・直射日光を避け、容器を密閉し、着火源から離れた屋内の冷暗所に保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

暴露濃度基準：

成分名	安衛法 ばく露濃度基準	日本産業衛生学会 許容濃度(mg/m ³)	作業環境測定基準 管理濃度
二酸化チタン	-	0.3	-
MEKO			3ppm(8hour TWA)

- 設備対策：
- 蒸気、ミストが発生する場合には、局所排気装置などの排気のための装置を設置する。
- 保護具：
- 呼吸用保護具：有機ガス用防毒マスクを着用する。
- 保護眼鏡：保護眼鏡を着用する。
- 保護手袋：PE、ゴム製等の非浸透性の手袋を着用する。
- 保護衣：長袖作業衣等を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態：	固体
色：	白
臭い：	微臭
融点／凝固点：	該当しない
沸点又は初留点及び沸点範囲：	該当しない
可燃性：	データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界：	データなし
引火点：	81℃
自然発火点：	450℃
分解温度：	データなし
pH：	データなし
動粘性率：	データなし
溶解度：	水に不溶
n-オクタノール/水分配係数：	データなし
蒸気圧：	データなし
密度及び／又は相対密度：	1.03 g/cm ³
相対ガス密度：	データなし
粒子特性：	データなし

10. 安定性及び反応性

- 反応性：
- 推奨どおりに使用すれば、危険有害な反応は起こらない。
- 化学的安定性：
- 通常状態で安定
- 危険有害反応可能性：
- 危険な重合は起こらない
- 避けるべき条件：
- 湿気。太陽光線。熱、火花、裸火から離しておく。
- 混触危険物質：
- 酸とアルカリ、湿気。強酸・強アルカリの接触により重合あるいは分解が起こる。
- 危険有害な分解生成物：
- 水／湿分と反応して、メチルエチルケトオキシム (MEKO、2-ブタノン-オキシム) を生成する。空気中において150℃以上加熱すると、酸化分解が進み、少量のホルムアルデヒドを発生する。

11. 有害性情報

[GHS分類]	急性毒性：	経口：混合物の急性毒性データが不十分のため、分類できない。 経皮：混合物の急性毒性データが不十分のため、分類できない。 気体：本製品は常温で固体のため分類対象外。 蒸気：混合物の急性毒性データが不十分のため、分類できない。 粉じんおよびミスト：混合物の急性毒性データが不十分のため、分類できない。
	皮膚腐食性／刺激性： 眼に対する重篤な損傷／眼刺激性： 呼吸器感受性： 皮膚感受性：	混合物の皮膚腐食性データが不十分のため、分類できない。 混合物の眼に対する重篤な損傷性データが不十分のため、分類できない。 混合物の呼吸器感受性データが不十分のため、分類できない。 混合物中の、皮膚感受性区分1に該当する成分濃度が0.1%以上あるため、区分1に相当。
	生殖細胞変異原性：	混合物の、生殖細胞変異原性区分2以上に該当する成分濃度は0.1%未満。
	発がん性：	混合物の、発がん性区分2以上に該当する成分濃度は0.1%未満。
	生殖毒性：	混合物の、生殖毒性区分2以上に該当する成分濃度は0.3%未満。
	特定標的臓器毒性（単回暴露）：	混合物の特定標的臓器毒性（単回ばく露）データが不十分のため、分類できない。
	特定標的臓器毒性（反復暴露）：	混合物の特定標的臓器毒性（反復ばく露）データが不十分のため、分類できない。
	誤えん有害性：	混合物の誤えん有害性データが不十分のため、分類できない。

[その他の情報] 生じる影響：
成分の急性毒性：

- ・皮膚、眼をわずかに刺激する。繰り返し、長期間の接触は、

成分名	LD50 (mg/kg)	生物種

12. 環境影響情報

[GHS分類]	水生環境有害性 短期（急性）：	混合物の、水生環境有害性 短期（急性）区分3に該当する成分濃度が25%以上あるため、区分3に相当。
	水生環境有害性 長期（慢性）：	混合物の、水生環境有害性 長期（慢性）区分3に該当する成分濃度が25%以上あるため、区分3に相当。
	生態毒性：	データなし。
	残留性・分解性：	データなし。
	生体蓄積性：	データなし。
	土壌中の移動性：	データなし。
	オゾン層への有害性：	モントリオール議定書の附属書に記載される物質成分はない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物：	廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び都道府県条例等に基づき、許可を受けた処理業者に委託する。ウエス等も同様である。本製品は産業廃棄物に分類される。
汚染容器・包装：	内容物を完全に除いた後処分する。処理は法規の規定に従って行う。

14. 輸送上の注意

国連番号： 非該当
 品名： 非該当
 国連分類： 非該当
 容器等級： 非該当

「取扱い及び保管上の注意」の項に記載による他、引火性の強い有害な液体に関する一般的な注意による。

その他、消防法、船舶安全法等の法令に定める所に従う。

容器に漏れない事確かめ、転倒、落下、破損がないように、積み込み荷崩れの防止を確実にを行う。

15. 適用法令

消防法： 指定可燃物 可燃性固体類
 化審法：
 [第一種特定化学物質] 非該当
 [第二種特定化学物質] 非該当
 毒物劇物取締法： 非該当
 労働安全衛生法：
 [表示対象物質] 酸化チタン(IV)
 [通知対象物質] 酸化チタン(IV)
 ※2025年4月1日以降、改正労働安全衛生法における指定物質（追加・変更分）
 [表示対象物質] 非該当
 [通知対象物質] 非該当
 ※2026年4月1日以降、改正労働安全衛生法における指定物質（追加・変更分）
 [表示対象物質] 非該当
 [通知対象物質] 非該当

 [令別表第1 危険物] 非該当
 [特化則] 非該当
 [有機則] 非該当
 [がん原性がある物質として厚生労働大臣が定めるもの]（労働安全衛生規則第577条の2第3項）
 非該当
 皮膚等障害化学物質（労働安全衛生規則第594条の2第1項）
 [皮膚刺激性有害物質] 非該当
 [皮膚吸収性有害物質] 非該当
 P R T R法：
 [特定第1種指定化学物質] 非該当
 [第1種指定化学物質] 非該当
 [第2種指定化学物質] 非該当

16. その他の情報

この安全データシートは、JIS Z 7253(2019)に基づいて記載しております。記載内容は、現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては情報提供であり、いかなる保証もなすものではありません。
 また、記載事項は通常の実施を前提としたものですので、特別な取扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。

製品に関するお問い合わせはアイカ問い合わせセンター(0120-525-100)まで。

最新SDSにつきましては代理店若しくは弊社担当営業へご請求ください。

[参考文献]

- | | |
|----------------------------|------------|
| ・ 14102の化学商品 | 化学工業日報社 |
| ・ 化学物質の危険、有害便覧 | 中央労働災害防止協会 |
| ・ 知っておきたい職場の化学物質 | 中央労働災害防止協会 |
| ・ GHS対応による混合物（化学物質）のMSDS作成 | 中央労働災害防止協会 |
| ・ 製品安全データシートの作成指針 | 日本化学工業協会 |